

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	スポーツ施設の整備と運営	1	陸上競技場運営委員会支援事業
		2	渡良瀬川緑地運動施設維持管理事業
		3	渡良瀬川ふれあいスポーツ広場維持管理事業
		4	中運動公園プール改修事業
		5	体育施設備品購入事業
		6	体育施設トイレ改修事業
		7	体育施設・学校開放施設貸出事務
		8	秋山川ゲートボール場維持管理事業
		9	若宮球場維持管理事業
		10	私有運動施設整備用砂購入事業
		11	国際クリケット場整備事業
		12	元大橋町市営プール入口ブロック塀改修事業
		13	学校開放体育施設運営委員会活動事業
		14	学校開放事業
		15	栄公園水害対策事業
		16	運動公園等指定管理事業
		17	国体開催施設整備事業
		18	運動公園テニスコート夜間照明整備事業
		19	アリーナたぬま等指定管理事業

事務事業名		体育施設トイレ改修事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山和之	
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	15349	一般	10	5	2	体育施設トイレ改修事業						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H25年度～		根拠法令 条例等	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
								任意的事業・義務的事业		任意的事業		
								実施方法		直営		
								事業分類		施設等整備事業		
								リーディングプロジェクト		該当		
								市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
市内体育施設のトイレについて、衛生面並びに利便性の観点から考慮し、和式トイレの洋式化及び汲み取り式トイレの水洗化を図っている。 平成25年度においては田沼グリーンスポーツセンター及び運動公園体育館内のトイレの洋式化を実施し、平成26年度においては田沼総合運動場の水洗化並びに洋式化を実施した。平成27年度は実施箇所はないものの、平成28年度は、汲み取り式となっている田沼西運動場のトイレ改修、田沼グリーンスポーツセンター野球場トイレ洋式化、平成29年度は、運動公園、中運動公園のトイレ、平成30年度は、田沼グリーンスポーツセンターゲート		台風の影響により、運動公園野球場トイレを洋式化予定であったが事業を見送った						
		活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
		トイレ改修を実施する施設数	箇所	2	1	-	-	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・市民 ・改修しようとするトイレ	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
	人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	
	トイレ改修を実施する施設数	箇所	2	1	-	-	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

利用者が衛生的かつ利便性にとんだ体育施設の整備を図る。	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
	トイレ改修を実施する施設数	箇所	2	1	-	-	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
	安全に使用できる市有スポーツ施設数	数	42	41	28	42	42
	市有スポーツ施設の利用者数	人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		2,953	1,488	0						
	事業費計(A)	千円		2,953	1,488	0	0	0				
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			工事請負費	2,953	工事請負費	1,488	工事請負費	0				
	正規職員従事人数	人		3	2	0						
のべ業務時間	時間		200	100	0							
人件費計(B)	千円		763	382	0	0	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		3,716	1,870	0	0	0	0	0	0	0	

事務事業名	体育施設トイレ改修事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	-------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	一般家庭のトイレの洋式化が進んでおり、利用者の要望に対応するため洋式トイレへの改修が必要である。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・議会の一般質問において、運動施設のトイレの洋式からについて取り上げられた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	台風のため事業見送り

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・快適な運動施設に整備することで、生涯スポーツ・レクリエーションの推進が図れる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市が所有する施設である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	施設を改修することで快適に利用できる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	トイレの洋式化は、他の公共施設においても進めており、水洗化できていない箇所の優先的な改修など、施設の状況や利用人数を踏まえ計画的に改修すべき情勢に来ている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最低限の工事であり削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	・施設利用者から利用料金を徴収しているため適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	体育施設のトイレの水洗、洋式化完了。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
休止 ※評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 予算縮減のため	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		体育施設・学校開放施設貸出事務					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	管理係	担当課長名	村山和之		
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	15364	一般	10	5	2	体育施設・学校開放施設貸出事務						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間				根拠法令 条例等	佐野市都市公園条例 佐野市体育施設条例 佐野市立小中学校施設開放規則			市単独事業・国県補助事業		市単独事業
							任意的事業・義務的事业			任意的事業		
							実施方法			直営		
							事業分類			施設維持管理事業(市主体)		
							リーディングプロジェクト			該当		
							市長市政公約			該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
・市内体育施設及び学校開放施設の利用申請において、円滑に施設貸出の手続きを進めるために、各施設の利用申請書の作成を行う。		・事業概要と同じ。					
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	体育施設数	箇所	42	41	28	42	
	学校開放施設数(屋内・屋外)	箇所	62	62	62	62	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・市民。		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	人口	人		120,018	119,348	118,450	117,706	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

・体育施設並びに屋内、屋外の学校体育施設を円滑に利用できるようにする。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	公共スポーツ施設の延べ利用者数(学校開放を除く)	人		541,350	613,713	447,054	522000	
	学校開放登録団体数	団体		290	292	268	300	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	安全に使用できる市有スポーツ施設数	数		42	41	28	42	42
	市有スポーツ施設の利用者数	人		541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	78		75		19		100			
	事業費計(A)	千円	78		75		19		100		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			印刷製本費	78	印刷製本費	75	印刷製本費	19	印刷製本費	100		
	正規職員従事人数	人	2		2		2		2			
のべ業務時間	時間	10		10		10		10				
人件費計(B)	千円	38		38		38		38		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	116		113		57		138		0		

事務事業名	体育施設・学校開放施設貸出事務	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	-----------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・事業開始年度不明。体育施設・学校開放施設利用にあたり利用申請書の提出を求めている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	体育施設等の指定管理制度の導入により、指定管理施設の申請書については基本的に指定管理者側の支出により、申請書の作成を行っている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・申請手続き等についての苦情はほとんど見られない。オンラインによる利用申請も実施している。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
受益者負担の適正化	市の受益者負担の方針に基づき検討を始めた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・身近で円滑な施設利用ができることにより、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・市内体育施設・学校開放施設の利用を推進することによって、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなるため、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・体育施設並びに学校体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と健康維持・体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	・体育施設並びに学校開放施設の円滑な利用のため申請行為は最低限必要とされるものであるため向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・必要最小限の経費・人数で行っているため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	・特定の体育施設及び学校開放施設については使用料を徴収していない。近隣市町村の状況等をふまえて今後検討していく余地はある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?) 利用がなくなる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 受益者負担の見直し	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×	廃校の取り扱いをどうするか
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○		×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		秋山川ゲートボール場維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山和之		
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	15359	一般	10	5	2	秋山川ゲートボール場維持管理事業	任意的事業・義務的事业	任意的事業					
							実施方法	直営					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成20年度～		根拠法令 条例等	佐野市体育施設条例及び 同条例施行規則	事業分類	施設維持管理事業(市主体)					
							リーディングプロジェクト	該当					
							市長市政公約	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
<ul style="list-style-type: none"> ゲートボール場及びトイレの維持管理。 施設の修繕。 光熱水費、委託料等の支払い。 		<ul style="list-style-type: none"> 事業概要と同じ。 						
		活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
		修繕件数	件	0	0	1	1	
		除草、剪定	回	1	1	1	0	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

<ul style="list-style-type: none"> 市民。 ゲートボール場。 		対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
		人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	
		ゲートボール場数	面	6	6	6	0	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

<ul style="list-style-type: none"> 利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。 		成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
		修繕件数	件	0	0	1	1	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

<ul style="list-style-type: none"> 市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。 		上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	数	42	41	28	42	42
		市有スポーツ施設の利用者数	人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	347		508		563		133			
	事業費計(A)	千円	347		508		563		133		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	19	需用費	30	需用費	59	需用費	74		
			光熱水費	30	役務費	2	役務費	1	役務費	2		
修繕料			0	委託料	477	委託料	503	委託料	57			
火災保険料			2									
業務委託料			270									
清掃委託料	29											
正規職員従事人数	人	2		2		2		2				
のべ業務時間	時間	30		30		30		30				
人件費計(B)	千円	114		115		114		114		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	461		623		677		247		0		

事務事業名	秋山川ゲートボール場維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・事業開始年度不明。秋山川河川敷に協会主催の大会等を行う会場としてゲートボール場を設置した。平成10年に利用者のための水洗トイレを設置した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・ゲートボール大会や近隣地域のグランドゴルフ場として利用している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・河川敷のため、天候等に開場が左右されやすいため、他の場所への設置要望もあった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	・整備等を進め、身近で円滑な施設利用ができることにより、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	・体育施設を設置することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と、健康維持・体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	・維持管理については、必要最低限の整備を行っているため向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	・必要最小限の経費で行っているため、削減の余地はない。 ・必要最小限で行なっているため人件費の削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・現時点では、河川敷に設置してある運動施設については、無料としている。また、当該施設については、大会での利用が多く、大会を運営しているゲートボール協会が整備等をボランティア的におこなっているため、料金の徴収は難しい。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	・市民がスポーツ・レクリエーション活動を行うことができる施設を失うことになるため、廃止、休止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		若宮球場維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	管理係		担当課長名	村山和之
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15335	一般	10	5	2	若宮球場維持管理事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	実施方法		直営		事業分類		施設維持管理事業(市主体)				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S51年度～		根拠法令 条例等	佐野市立小中学校施設開放規則		リーディングプロジェクト	該当		
	市長市政公約		該当なし								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
<ul style="list-style-type: none"> ・球場及びトイレの維持管理。 ・施設の修繕。 ・光熱水費、委託料等の支払い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要と同じ。 						
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	利用者数	人	15,662	16,875	16,387		
	修繕件数	件	5	2	3		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

<ul style="list-style-type: none"> ・市民。 ・若宮球場。 	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	人口	人	120,018	119,348	118,450		
	施設数(面数)	面	2	2	2		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。 	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	利用者数	人	15,662	16,875	16,387		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	安全に使用できる市有スポーツ施設数	数	42	41	28	42	42
	市有スポーツ施設の利用者数	人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	1,990		1,043		1,141					
	事業費計(A)	千円	1,990		1,043		1,141		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	60	報償費	60	報償費	40				
			消耗品費	136	需用費	590	需用費	645				
光熱水費			354	役務費	33	役務費	36					
修繕料			562	委託料	360	委託料	420					
通信運搬費			33									
火災保険料			1									
業務委託料	556											
管理委託料	291											
正規職員従事人数	人	2		2		2						
のべ業務時間	時間	100		100		100						
人件費計(B)	千円	382		382		382		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,372		1,425		1,523		0		0		

事務事業名	若宮球場維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・学校予定地としての土地を球場として昭和51年に開設した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・利用者のマイカー使用が多くなり、駐車場の問題が発生している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・施設が住宅地の中にあるため駐車場の問題や、ボールの球場外への飛び出し等、近隣住人からの苦情等がある。 ・ソフトボール協会から防球ネットの嵩上げの要望がでている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	・計画的な修繕を検討し、より良い施設の維持管理に努める。
事業のやり方改善(コストの見直し)	・学校の配置計画の中で、学校予定地としての利用がないことが確定したため、用途地域は運動施設ができない地域であり、今後、新しく球場として利用は難しく、売却の方向性が示された。
受益者負担の適正化	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	・修繕等により施設の維持が図られ、生涯にわたりスポーツを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	・体育施設を設置することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と健康維持・体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	・現時点では予算にかぎりがあるため、その範囲内でできるかぎりの維持管理に努めているが、施設の老朽化も進んでいくため、計画的な修繕、整備が必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	・類似事務事業名 学校開放事業 学校予定地であり、夜間の利用は学校開放事業で行っている。
	*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	・修繕等の計画的な実施を進めることにより、施設整備の改善と、計画的な予算執行を行うことができる。 ・必要最小限で行なっているため人件費の削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・現時点では、当該施設が学校予定地であり、学校開放事業とあわせて、無料としている。学校開放事業や施設の状況等から今後見直す余地はある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) ・学校の配置計画の中で、学校予定地としての利用がないことが確定したため、用途地域は運動施設ができない地域であり、今後、新しく球場として利用は難しく、売却の方向性が示された。今後、調整が済めば廃止。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業統合・連携 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ・学校の配置計画の中で、学校予定地としての利用がないことが確定したため、用途地域は運動施設ができない地域であり、今後、新しく球場として利用は難しく、売却の方向性が示された。今後、事業自体は廃止し、学校開放事業の中で、利用し、廃止の協議を行う。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	利用団体があり、台風災害対応で、使えない施設が、多いため、施設自体の即時廃止は難しい。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		私有運動施設整備用砂購入事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山和之		
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	15063	一般	10	5	1	私有運動施設整備用砂購入事業							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S60年度～			根拠法令 条例等							
							市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
							任意的事業・義務的事業	任意的事業					
							実施方法	直営					
							事業分類	施設等整備事業					
							リーディングプロジェクト	該当					
							市長市政公約	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
・町会等の公共的団体が市内において、民有地を運動施設用地として整備する際に要する経費の一部を補助することにより、身近なところでスポーツに親しむ環境づくりを支援し、市民ひとり1スポーツの推進、市民の健康維持、増進を図ることを目的とする中で、私有運動施設を整地するために必要な砂(ダスト)を提供し、安全で快適なスポーツ環境づくりを支援する。		・砂(ダスト)搬入依頼団体2件(計8t)。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
運動場等整地(ダスト搬入)依頼件数		件	4	1	2		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・町会等公共団体		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
町会数		町会		167	167	167		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

・市民1スポーツの推進を図り、市民の健康維持、健康増進と明るい町づくりに寄与する。私有運動施設を整地するために必要な砂(ダスト)を提供し、安全で快適なスポーツ環境づくりを支援する。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
私有運動施設を整地を肉れた町会数		町会		4	1	2		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
安全に使用できる市有スポーツ施設数		数		42	41	28	42	42
市有スポーツ施設の利用者数		人		541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		77	11	21						
	事業費計(A)	千円		77	11	21		0				0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	77	消耗品費	11	消耗品費	21				
	正規職員従事人数	人		1	1	1						
のべ業務時間	時間		20	20	20							
人件費計(B)	千円		76	76	76		0				0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		153	87	97		0				0	

事務事業名	私有運動施設整備用砂購入事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	----------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・昭和60年4月より町会等の公共団体が市内の民有地を運動施設として整備する際に、その経費の一部を補助することにより、団体の経費軽減を図るとともに、身近なところでスポーツに親しむことのできる環境をサポートするために交付要綱(廃止)を設置した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・なし。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・なし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	・現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・施設整備にかかる費用の一部を補助することにより、事業対象者の負担の軽減を図ることができ、身近で円滑な施設利用ができることにより、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・市が運動施設の整備を推進することになるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・身近なところでスポーツ・レクリエーションに親しむ環境づくりを支援し、市民の生涯スポーツの推進を図ることを目的とする事業のため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	・町会等の私有運動施設において、整備が図れているため、向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費・人件費共に削減の余地がある	理由・改善案	利用実績が減っており、需要がなくなりつつある。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	・私有地を運動施設として整備する際にかかる費用の一部の補助事業のため、すでに負担をしており、見直しの必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	利用件数が減り需要がなくなったとき			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
<p>廃止</p> <p>* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)</p> <p>利用町会がほとんどなく廃止すべきである。</p>	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		陸上競技場運営委員会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	管理係	担当課長名	村山和之	
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15369	一般	10	5	2	陸上競技場運営委員会支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成2年度～		根拠法令 条例等	佐野市都市公園条例		市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
								任意的事業・義務的事業		任意的事業	
								実施方法		直営	
								事業分類		支援事業	
								リーディングプロジェクト		該当	
								市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場運営委員会に交付金を交付している。年1回の総会出席、随時意見交換を行っている *陸上競技場運営委員会とは運動公園陸上競技場(2種公認)の利用開始に伴い、施設の有効利用及び効果の利用を図るため具体策の研究協議や円滑で適正な競技場運営ができる活動し、陸上競技場で開催される陸上競技大会に対し協力を行っている。 		<p>(市の活動)</p> <p>陸上競技場運営委員会に交付金を支出、年1回の総会、随時意見の交換を行っている。</p> <p>(陸上競技場運営委員会の活動)</p> <p>施設の有効利用及び効果の利用を図るため具体策の研究協議や円滑で適正な競技場運営ができる活動し、陸上競技場で開催される陸上競技大会に対し協力を行っている。</p>					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
運営委員会の会議・研究回数		回	4	4	2	2	
運営委員会の大会協力回数		回	9	8	8	10	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

対象		対象指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
陸上競技場運営委員会。		運営委員会委員数		人	14	14	14	14	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場施設・設備の充実及び有効利用に関する研究・提言をしてもらう。 公認審判員の養成や競技会の開催及び運営に携わってもらう。 各種陸上競技会の大会運営などに協力してもらう。 		利用・運営の提言数		件	1	1	1	1	
		競技大会への協力回数		回	9	8	8	10	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

結果		上位成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。市有スポーツ施設の利用促進を図る。		安全に使用できる市有スポーツ施設数		数	42	41	28	33	33
		市有スポーツ施設の利用者数		人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	500		443		150		150			
	事業費計(A)	千円	500		443		150		150		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	500	消耗品費	40	交付金	150	交付金	150		
					備品購入費	253						
				交付金	150							
正規職員従事人数	人	1		1		1		1				
のべ業務時間	時間	20		20		20		20				
人件費計(B)	千円	76		76		76		76		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	576		519		226		226		0		

事務事業名	陸上競技場運営委員会支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	----------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・平成2年4月から、佐野市運動公園陸上競技場の有効利用を目的とした施設・設備・陸上競技会の開催促進、運営協力及び陸上競技の振興を図るため開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・国内2種公認陸上競技場の有効利用や各種大会への協力、競技場備品等の整備提言など引き続き運営委員会の協力が必要である。 ・補助金等検討委員会から交付額の削減の提言がされている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・なし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	交付金を減額し、活動費必要な消耗品、備品については市で購入した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・陸上競技施設の充実と小学校・中学校・高等学校・一般に至る陸上競技種目利用者の練習・競技する機会の充実に貢献する。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・市の陸上競技場施設は大きな施設で、競技種目や競技備品、施設の整備充実策の検討や競技場の有効利用の観点から、専門的技術・知識のある運営委員会の意見・提言等が必要で、市が支援に関与することは妥当である。 ・協働については、より適正な陸上競技場の運営を確保する観点から、市民団体などに委ねることはできない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・市民の陸上競技向上のため、市内陸上競技関係機関、団体と連携をとりながら、陸上競技施設の充実と利用促進について協力する運営委員会への支援活動は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	・必要最小限の人員で施設の有効利用や施設・設備等の整備の検討・研究等を進めている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・運営委員会の事業費の主なもの事務費や陸上競技場に必要の備品購入費であり、また、行政の補完的な役割を担っている団体でもあり、削減の余地はない。 ・必要最小限で行なっているため人件費の削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	・受益者負担になじまない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	・専門的技術・知識を持たない市にとっては、利用する市民への施設の充実策や施設の有効利用策の推進に影響が出るため、休止・廃止できない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		渡良瀬川緑地運動施設維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	管理係		担当課長名	村山和之
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15356	一般	10	5	2	渡良瀬川緑地運動施設維持管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成15年度～		根拠法令 条例等	佐野市体育施設条例及び同条例施行規則				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
事業区分						事業分類		施設維持管理事業(市主体)			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当			
事業区分						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
・野球場1面、ソフトボール場4面、運動広場2面の維持管理。		・野球場1面、ソフトボール場4面、運動広場2面の維持管理。 ・河川占用更新。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
利用者数		人	12,443	11,904	9,391	10,000	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・市民。 ・渡良瀬川緑地運動施設。		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
人口		人		120,018	119,348	118,450	117,706	
施設数(面数)		面		7	7	7	7	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
利用者数		人		12,443	11,904	9,391	10,000	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
安全に使用できる市有スポーツ施設数		数		42	41	28	42	42
市有スポーツ施設の利用者数		人		541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	2,963		2,183		1,536		3,547			
	事業費計(A)	千円	2,963		2,183		1,536		3,547		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	254	消耗品費	111	需用費	299	需用費	629		
			光熱水費	44	光熱水費	52	役務費	52	役務費	98		
修繕料			186	修繕料	199	委託料	1,186	委託料	2,820			
手数料			95	手数料	70							
火災保険料			1	火災保険料	1							
業務委託料			1,205	業務委託料	567							
管理委託料	1,100	管理委託料	1,100									
清掃委託料	82	清掃委託料	85									
正規職員従事人数	人	4		4		4		4				
のべ業務時間	時間	400		400		400		400				
人件費計(B)	千円	1,526		1,528		1,526		1,526		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,489		3,711		3,062		5,073		0		

事務事業名	渡良瀬川緑地運動施設維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・渡良瀬川緑地整備事業(公園緑地課)により河川敷にスポーツ施設を整備し共用を平成15年度より開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・河川敷のため天候に左右されやすい。 ・平成21年度に利根川水系連合水防訓練が渡良瀬川緑地周辺で開催され、周辺の河川敷が整備されたため、平成22年度において公園緑地課がソフトボール場1面と広場2面の整備を実施した。なお、整備後の緑地については、スポーツ振興課が維持管理を行なう。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・施設整備等の要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
受益者負担の適正化	・河川敷に設置してある運動施設については、現在、無料としている。今後、施設の整備と利用状況を踏まえて、受益者負担の検討をしていくことも考えられる。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	・整備等をすすめ、身近で円滑な施設利用ができることにより、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	・体育施設を設置することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と、健康維持・体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	・維持管理については、必要最低限の整備を行っているため向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	・必要最小限の経費で行っているため、削減の余地はない。 ・必要最小限で行なっているため人件費の削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・現時点では、河川敷に設置してある運動施設については、無料としている。利用施設の利用状況等をふまえて考慮していくことも考えられる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
・市民がスポーツ・レクリエーション活動を行うことができる施設を失うことになるため、廃止、休止はできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ・河川敷に設置してある運動施設については、現在、無料としている。今後、施設の整備と利用状況を踏まえて、受益者負担の検討をしていくことも考えられる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○		×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		渡良瀬川ふれあいスポーツ広場維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山和之		
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	15357	一般	10	5	2	渡良瀬川ふれあいスポーツ広場維持管理事	任意的事業・義務的事業	任意的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成20年度～		根拠法令 条例等	佐野市体育施設条例及び 同条例施行規則	実施方法	直営					
							事業分類	施設維持管理事業(市主体)					
							リーディングプロジェクト	該当					
							市長市政公約	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
・市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる場所を確保するため、渡良瀬川河川敷の一部を占有許可受け、ふれあいスポーツ広場として市民に開放し、快適な利用ができるよう広場の維持管理をする。 ・河川占有許可の更新。						・市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる場所を確保するため、渡良瀬川河川敷の一部の占有許可を受け、ふれあいスポーツ広場として市民に開放し、快適な利用ができるよう広場の維持管理をする。					
活動指標						単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
管理委託件数						件	0	0	0	0	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
・市民。 ・スポーツ広場。						対象指標					
人口						人	120,018	119,348	118,450	117,706	
施設面積						m ²	20,688	20,688	20,688	20,688	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。						成果指標					
利用者数						人	1,550	1,574	1,896	2,000	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。						上位成果指標					
安全に使用できる市有スポーツ施設数						数	42	41	28	42	42
市有スポーツ施設の利用者数						人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	0	0	0	0				
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			管理委託料	0	管理委託料	0	管理委託料	0	管理委託料	45
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1				
のべ業務時間	時間	5	5	5	5					
人件費計(B)	千円	19	19	19	19	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	19	19	19	19	0				

事務事業名	渡良瀬川ふれあいスポーツ広場維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	----------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・渡良瀬川河川敷を市民がスポーツを楽しむ場所として、河川占有許可を受け、ふれあいスポーツ広場として広く一般市民に開放するため、事業を平成20年度より開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・なし。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・なし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・整備等を進め、身近で円滑な施設利用ができることにより、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・体育施設を設置することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と、健康維持・体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	・維持管理については、必要最低限の整備を行っているため向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・必要最小限の事業費及び人件費で行っているため削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	・現在、1年ごとに占有許可を取り、広場として開放しているため無料としている。使用料の設定は難しいものと思われる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
・平成20年度より開始した事業であるため、今後状況により判断する。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		中運動公園プール改修事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山和之
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業		継続事業	
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業		一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15347	一般	5	10	2	中運動公園プール改修事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H30年度～R1年度		根拠法令 条例等						
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		施設等整備事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
中運動公園プールの子供プールからろ過機までの配管が経年劣化により水漏れを起こしているため、配管の更新し、利用者が安全にプールを利用できるように改修工事を行う。					中運動公園プール配水管改修工事(平成30年度から繰り越し)						
					活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
					中運動公園プール改修工事	施設		1	1		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
中運動公園プール					対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
					中運動公園プール	箇所	1	1	1		
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)					成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
・利用者が安全・快適利用できる体育施設の整備を図る。					中運動公園プールの利用者数	人	2,234	3,585	2,635		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。					上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
					安全に使用できる市有スポーツ施設数	数	42	41	28	42	42
					市有スポーツ施設の利用者数	人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円			10,196					
	事業費計(A)	千円	0	0	10,196	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					工事請負費	0	工事請負費	10,196		
	人件費	人		2		2				
のべ業務時間	時間		100		50					
人件費計(B)	千円	0	382		191	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	382		10,387	0	0			

事務事業名	中運動公園プール改修事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	--------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	中運動公園プール営業終了後の点検で水漏れがあることがわかり、改修が必要になった。来年度の営業に間に合うように工事を行う必要がある。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	施設や設備の不備による事故について、公的責任のほかに担当者個人の責任が問われるようになってきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	繰越工事を継続

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	安全で快適な運動施設に整備することで、生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図ることが可能となる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	行政財産であるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	生涯スポーツ・競技スポーツの推進を図り、市内体育施設の利用者の増加を図るためにも、体育施設の整備は必要である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	必要最小限の改修工事である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の事業費で実施する。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	施設利用者から利用料金を徴収しているため適正である
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	改修工事完了			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業終了	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 																									

事務事業名		体育設備品購入事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山和之		
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	15403	一般	10	5	2	体育設備品購入事業費							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	令和元年度		根拠法令 条例等								
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業						
						任意的事業・義務的事業	任意的事業						
						実施方法	直営						
						事業分類	施設等整備事業						
						リーディングプロジェクト	該当						
						市長市政公約	該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
日本スポーツ振興センターのTOTO助成(スポーツ振興くじ助成)利用し、老朽化した施設の備品の更新、購入を行う。 令和元年度 陸上競技場(ハードル更新) 令和2年度 陸上競技場(小学生用ハードル)		運動公園陸上競技場ハードル等購入 ハードル 85台 ハードル運搬台 9台					
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	備品購入	式			1	1	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市有体育施設		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	備品購入	式				1	1	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

利用者が安全・快適利用できる体育施設の整備を図る。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	市内体育施設の利用者数	人		541,350	613,713	447,054	522,000	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	安全に使用できる市有スポーツ施設数	数		42	41	28	42	42
	市有スポーツ施設の利用者数	人		541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円					4,216		2,852			
	一般財源	千円					1,054		714			
	事業費計(A)	千円	0		0		5,270		3,566		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
							備品購入費	5,270	備品購入費	3,566		
	正規職員従事人数	人					2		2			
のべ業務時間	時間					50		50				
人件費計(B)	千円	0		0		191		191		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0		0		5,461		3,757		0		

事務事業名	体育設備品購入事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	-----------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成30年度に陸上競技場の2種更新を行った際、TOTOの助成利用し備品の購入を行った。市有の施設の備品は、古いものが多く、修繕できないものもあり、更新の時期を迎えているため、計画的に備品の購入を行うため、令和元年度から事業を始めた
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	コロナウイルス感染防止のため、助成の財源であるTOTOの販売ができていない期間ができるため、令和3年度の助成金は厳しくなることが考えられる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	利用者、団体より備品の更新を求められている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	安全で快適な運動施設に整備することで、生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図ることが可能となる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市有財産である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	生涯スポーツ・競技スポーツの推進を図り、市内体育施設の利用者の増加を図るためにも、体育施設の整備が必要であると考えたため。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	備品の購入は毎年度1件しか認められていない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最低限の予算である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	受益者負担の割合は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 更新する備品等がなくなったとき			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			

事務事業名		学校開放事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山和之	
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	15337	一般	10	5	2	学校開放事業						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間				根拠法令 条例等	佐野市立小中学校施設開放規則					
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
						任意的事業・義務的事業	任意的事業					
						実施方法	直営					
						事業分類	施設維持管理事業(市主体)					
						リーディングプロジェクト	該当					
						市長市政公約	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
・市立小中学校の施設(体育館 施設、武道場2施設、校庭 施設)及び若宮球場の夜間開放に係る運営と校庭の夜間照明施設の維持管理を行う事業。市民が身近なところでスポーツ等に親しむ環境を提供する。開放期間等は、体育館及び武道館は月から土の午後6時から午後10時まで。校庭は3月20日から11月20日までの午後6時から午後10時まで。屋間は、若宮球場では毎日開放。利用料金は無料。利用するには団体登録が必要。登録資格は、市内に在住又は勤務する10人以上の団体。利用できる設備が施設によって様々であり、利用できる種目が施設によって異なる。管理人を置き、施設の鍵の管理、見回り等を行う。		・維持管理:校庭の夜間照明施設の修繕、電気料の支払い。 ・運営:運営委員会から提出された登録申請書の管理を行う。各学校からの行事予定報告を日程表に記載し、各運営委員会へ送付する。(運営委員会は各団体の施設利用日程を調整し日程表を作成し提出。)提出された日程表を各学校、管理人へ送付する。利用後は、各管理人から実績の報告あり、報告に基づき報酬の支払いをする。その他問合わせ等の対応をする。					
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	年間利用日数	日	7,197	7,151	6,457	8,000	
	年間修繕件数	件	9	6	3	5	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・市民。 ・登録団体(10人以上の市内在住、在勤の団体)。		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	
		登録団体数	団体	290	292	268	300	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

・各施設を不都合なく安全に利用できる。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		年間利用日数	日	7,197	7,151	6,457	8000	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	数	42	41	28	42	42
		市有スポーツ施設の利用者数	人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	7,978		8,181		7,246		6,230			
	事業費計(A)	千円	7,978		8,181		7,246		6,230		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	5,775	報償費	5,729	報償費	5,173	報償費	2,880		
			消耗品費	1	需用費	2,218	需用費	1,957	需用費	3,020		
光熱水費			1,223	役務費	44	役務費	44	役務費	45			
修繕料			677	委託料	190	委託料	72	委託料	285			
通信運搬費			44									
業務委託料	260											
正規職員従事人数	人	1		1		1		1				
のべ業務時間	時間	200		200		200		200				
人件費計(B)	千円	763		764		763		763		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,741		8,945		8,009		6,993		0		

事務事業名	学校開放事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	--------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・事業開始年度不明。昭和50年頃、小中学校の施設及び学校予定地をスポーツ・レクリエーション活動その他の社会教育の普及並びに幼児及び児童・生徒の安全な遊び場を確保するために学校施設の開放事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・学校開放事業が開始されたときは、ナイター利用はソフトボール、体育館利用はハレーボールの利用が多かったが、利用者のスポーツ種目の多様化により、既存の施設に適合していないスポーツ等もあり、利用者のニーズに答えられないケースもでてきている。 ・旧田沼町、旧葛生町では受益者負担を取っていた。 ・市街地周辺の施設では高い頻度で利用されているが、山間部の施設の利用が少ないので、比較利用頻度の少ない施設への利用登録を図る。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・施設の老朽化、多様化する利用種目により、利用者、施設提供者双方より様々な意見がある。(使用備品、スポーツ種目の施設適合性) ・「体育館でフットサルをやりたいができる場所はないか」といった問い合わせがある。 ・学校や管理人からは「利用者のマナーが悪い」といった意見がある。 ・周辺住民から「人がいないのに電気がついてる。使っていないのに、もったいない」といった意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	①利用者のマナー改善の周知。
受益者負担の適正化	②報償費の削減。 ③受益者負担等について近隣市町の状況調査。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・不都合なく安全に利用できる施設とすることで、利用者に安全で快適な施設を提供することができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・佐野市立小中学校の体育館、ナイター照明施設を学校教育に支障の及ばない夜間に開放することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなるため、妥当である。学校、運営委員会など多様な調整が必要なため市が行うべきである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・学校体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と、健康維持・体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	・年間の苦情件数は 件。学校や近隣住民からの苦情であった。 ・各団体や運営委員会に利用上の注意事項を徹底し、利用者のマナー向上を図るとともに、管理人に施設の開閉、見回りや照明の点灯時間などの指導を行う。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・対象施設が多く老朽化も進んでおり事業費や人件費の削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	今後、受益者負担を求める必要がある	理由・改善案	・現在、学校開放事業については、使用料を徴収していない。近隣市町の状況等をふまえて今後検討していく余地はある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
・市民が身近なところでスポーツ・レクリエーション活動を行う環境がなくなることになるため、廃止、休止はできない。 ・利用者がスポーツ等を楽しむ機会を奪ってしまう。学校開放を廃止した場合、市の3つの体育館へ行くしかない。しかし、現状でも3つの体育館は、利用頻度が高い状態である。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 受益者負担の適正化 : 事業のやり方改善(コスト上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①利用者のマナー改善を図る。 ②使用料の徴収について検討する。 ③予算の縮減に伴い、管理人手当の減額を行う。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	管理人の手当減による管理人の不足。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		栄公園水害対策事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山和之		
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	15342	一般	5	10	2	栄公園水害対策事業							
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H30年度～R1年度			根拠法令 条例等							
							市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
							任意的事業・義務的事業	任意的事業					
							実施方法	直営					
							事業分類	施設等整備事業					
							リーディングプロジェクト	該当					
							市長市政公約	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
・栄公園南東の交差点は、以前より大雨が降った際、冠水する箇所ではあったが、近年のゲリラ豪雨など短時間で大量の雨が降った際、下半身沈むほどの浸水となり、範囲も広がってきており、自動車なども水没するような状況である。栄公園の樹木の落葉、また法面の土砂の流出が排水溝の入り口を塞ぎ原因となっていると考えられるため、密集してしまった樹木除去、土留めの設置が必要である。数年をかけ、計画的に伐採除去、土留めの設置を行う 平成30年度 測量調査業務委託 設計業務委託 伐採業務委託		栄公園水害対策工事(平成30年度から繰越)					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
伐採		箇所		1	-		
土留設置工事		箇所		1	1		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・栄公園		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
栄公園		施設		1	1	1		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

・利用者が安全・快適利用できる体育施設の整備を図る。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
栄公園の利用者数		人		9,901	16,152	11,891		
安全に使用できる市有スポーツ施設数		数		42	41	28		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
安全に使用できる市有スポーツ施設数		数		42	41	28	42	42
市有スポーツ施設の利用者数		人		541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円			11,654		5,313					
	事業費計(A)	千円	0		11,654		5,313		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					委託料	8,154	工事請負費	5,313				
					工事請負費	3,500						
正規職員従事人数	人			2		2						
のべ業務時間	時間			100		50						
人件費計(B)	千円	0		382		191		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0		12,036		5,504		0		0		

事務事業名	栄公園水害対策事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	-----------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・栄公園南東の交差点は、以前より大雨が降った際、冠水する箇所ではあったが、近年のゲリラ豪雨など短時間で大量の雨が降った際、下半身沈むほどの浸水となり、範囲も広がってきており、自動車なども水没するような状況である。栄公園の樹木の落葉、また法面の土砂の流出が排水溝の入り口を塞ぎ原因となっていると考えられる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	今後もゲリラ豪雨は増え続ける。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	道路河川課、下水道課より対策をお願いされている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	繰越工事を行った

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	安全で快適な運動施設に整備することで、生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図ることが可能となる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	行政財産であるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	生涯スポーツ・競技スポーツの推進を図り、市内体育施設の利用者の増加を図るためにも、体育施設の整備は必要である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	必要最小限の改修工事である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の事業費で実施する。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	施設利用者から利用料金を徴収しているため適正である
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	工事完了		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業終了	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		運動公園等指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山和之	
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業				
	15366	一般	10	5	2	運動公園等指定管理事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H21年度～		根拠法令 条例等	佐野市体育施設条例及び同条例施行規則 佐野市都市公園条例及び同条例施行規則	実施方法	指定管理者				
							事業分類	施設維持管理事業(市以外が主体)				
							リーディングプロジェクト	該当				
							市長市政公約	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
・運動公園、栄公園、佐野武道館の3施設を指定管理者により管理する。、市営大橋町プールは平成27年度で廃止。	・指定管理者:シンコースポーツ・日本管財共同事業体 ・施設の修繕(1件20万円以上)。 ・指定管理業務の監視。 ・指定管理者への指導、助言。					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
指定管理施設数	施設	3	3	3	3	
修繕件数	件	22	29	26	20	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・市民。 ・指定管理施設。 ・指定管理者。	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	
	指定管理施設数	施設	3	3	3	3	
	指定管理者数	団体	1	1	1	1	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	指定管理施設利用者数	人	226,500	282,406	215,934	280,000	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	安全に使用できる市有スポーツ施設数	数	42	41	28	42	42
	市有スポーツ施設の利用者数	人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	1,204		1,398		1,139		1,932			
	一般財源	千円	120,263		120,833		121,744		123,764			
	事業費計(A)	千円	121,467		122,231		122,883		125,696		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費(修繕料等)	6,369	需用費(修繕料等)	11,160	需用費(修繕料等)	9,816	需用費(修繕料等)	15,570		
			役務費	314	役務費	298	役務費	282	役務費	247		
検査委託料			250	運営委託料	75	委託料	109,545	委託料	109,608			
運営委託料			103	指定管理料	109,501	工事請負費	2,561	備品購入費	271			
指定管理料			109,501	工事請負費	1,005	備品購入費	680					
工事請負費			4,278	庁用器具費	192							
庁用器具費			128									
補償金	529											
正規職員従事人数	人	3		3		3		3				
のべ業務時間	時間	100		100		100		100				
人件費計(B)	千円	382		382		382		382		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	121,849		122,613		123,265		126,078		0		

事務事業名	運動公園等指定管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	-------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・平成21年4月から運動公園、栄公園、市営大橋町プール(平成27年廃止)、佐野武道館の4施設を指定管理とした。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・各種団体による大会等による利用が年々増加している。 ・施設や設備の不備による事故について、公的責任のほかに担当者個人の責任が問われるようになってきた。 ・市営大橋町プールが施設の老朽化により改修に多額の費用を要するため平成27年廃止になった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・利用者より老朽化した施設の改修の要望が出ている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	長寿命化計画等に従い、出来る修理を行っていく。 また、国体施設整備等に合わせ改修を行う。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	・身近で円滑な施設利用ができることにより、生涯にわたるスポーツ・レクリエーションを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	・体育施設を設置することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と健康維持、体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	・各施設において老朽化が進んでおり、これらの施設を整備することにより安全で快適な施設の提供が図られ、利用者の増加が見込まれる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	・類似事務事業名 アリーナためま等指定管理事業 複数年の契約で行っており、更新時期を合わせ検討が必要である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	・指定管理者制度を導入したことにより、事業費及び人件費の削減ができた。 ・平成29年度から指定管理者の更新により事業費の削減が図られた。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・施設利用者から利用料金を徴収しているため適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) ・市民がスポーツ・レクリエーション活動を行うことができる施設を失うこととなるため、廃止、休止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ・老朽化した施設の整備・改修を実施する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		国際クリケット場整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	管理係	担当課長名	村山和之	
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15363	一般	10	5	2	国際クリケット場整備事業					
	事業計画		期間限定複数年度	事業期間	H27年度～R1年度	根拠法令 条例等	佐野市国際クリケット場条例 佐野市国際クリケット場条例施行規則			市単独事業・国県補助事業	
								任意的事業・義務的事業	任意的事業		
								実施方法	直営		
								事業分類	施設等整備事業		
								リーディングプロジェクト	該当		
								市長市政公約	2-③-1		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
スポーツ立市推進基本計画の基本事業「クリケットを活用したスポーツツーリズムの進行」を推進するため、田沼高校跡地グラウンドを利用したクリケット等球技場の整備を行う。 H27 練習用ピッチを造成 H28 タンデムローラー、テント購入。 南側フェンス撤去、一部樹木伐採。 地方創生拠点整備交付金申請 H29 交付金活用による整備(コート2面、観客席) 平成28年4月佐野市国際クリケット場条例施行により事業名を旧田沼高校クリケット等球技場設備整備事業から変更。		浄化槽改修工事(平成31年度から繰り越し) トイレ建設工事(平成31年度から繰り越し)					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
整備した箇所		箇所	4	2	2		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

国際クリケット場	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	国際クリケット場	m ²	27,000	27,000	27,000		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

クリケット競技の国際規模の大会が開催できるよう整備する。 ・スポーツ施設を安全に利用できる状態にする。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	開催された国際大会試合数	回	1	1	1		
	安全に使用できる市有スポーツ施設数	数	42	41	28		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	安全に使用できる市有スポーツ施設数	数	42	41	28	42	42
	市有スポーツ施設の利用者数	人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円	99,241									
	県支出金	千円										
	地方債	千円	301,300									
	その他	千円	1,557									
	一般財源	千円	60,157		8,774		32,180					
	事業費計(A)	千円	462,255		8,774		32,180		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	79	委託料	1,474	委託料	492				
			委託料	69,057	工事請負費	7,300	工事請負費	31,688				
工事請負費			393,120									
正職員従事人数	人	3		4		4						
のべ業務時間	時間	1,500		300		300						
人件費計(B)	千円	5,724		1,146		1,145		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	467,979		9,920		33,325		0		0		

事務事業名	国際クリケット場整備事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	--------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	スポーツ立市推進基本計画の施策体系に旧田沼高校跡地を活用したクリケットによるスポーツツーリズムを推進することが位置付けられている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年12月の「観光立国推進基本法」や、平成22年8月の「スポーツ立国戦略」の策定に端を発し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどの開催もあって、スポーツを目的に誘客を図るスポーツツーリズムに関心を持つ自治体が増えており、事業誘致等での自治体間の競争は激しくなることが予想される。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	スポーツツーリズム推進基本計画のパブリックコメントにおいて、クリケットのまちとしてクリケットを普及すること、ツーリズムを進めることに肯定的な意見が多数寄せられる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	トイレ改修が完了した
受益者負担の適正化	利用料金の見直し

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	国際クリケット場で国際大会を開催できるクリケット場として整備することにより、本市のリーディングプロジェクト「スポーツ立市」に十分貢献できる事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	行政財産であり市がクリケット場として整備するものである。その際、現況を踏まえ国際基準に沿った球場整備を行うには、クリケット名門クラブMCCのアドバイスが必要であり、MCCと本市の友好関係を利用しマリルボーンクリケットクラブネットワーク事業と連動して推進するものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	国際クリケット場として活用するための整備であり、この対象及び意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	市単独での整備では限界があるため、国の補助メニューに乗ることにより、整備費用の軽減が図れる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	費用の最低限の整備内容であり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	利用料金の改定を行った
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		今年度までの整備が終了。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業終了	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		元大橋町市営プール入口ブロック塀改修事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	管理係		担当課長名	村山和之
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15431	一般	5	10	2	元大橋町市営プール入口ブロック塀改修事					
事業計画	単年度のみ	事業期間	令和元年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事业		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		施設等整備事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)							
元大橋町市営プール入口にある基準を満たさないブロック塀の改修を行う。					ブロック塀撤去工事							
					活動指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
					ブロック塀改修工事		箇所			1		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
元大橋町市営プール					対象指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
					元大橋町市営プール		施設	1	1	1		
目的												
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
利用者が安全・快適に利用できる体育施設の整備を図る。					成果指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
					市内体育施設の利用者数		人	541,350	613,713	447,054		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。					上位成果指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
					安全に使用できる市有スポーツ施設数		数	42	41	28	42	42
					市有スポーツ施設の利用者数		人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円					139					
	事業費計(A)	千円	0		0		139		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
							工事請負費	139				
	正職員従事人数	人					2					
のべ業務時間	時間					30						
人件費計(B)	千円	0		0		114		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0		0		253		0		0		

事務事業名	元大橋町市営プール入口ブロック塀改修事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	----------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成30年6月18日の大阪で起こった地震によりブロック塀が倒壊した死亡事故をきっかけに市有施設の点検が行われ、基準に満たないブロック塀と判断されたため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	隣接者より、界になっているので全面的な撤去はしないでほしいとの要望有。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	安全で快適な施設に整備することは、必要である
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	行政財産であるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	施設の安全性を保つため必要である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	事業終了
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 他課事業
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の事業費で実施する。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	現在使用していない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	工事完了			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業終了	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		学校開放体育施設運営委員会活動事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山和之		
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	15348	一般	10	5	2	学校開放体育施設運営委員会活動事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間				根拠法令 条例等	佐野市立小中学校施設開放規則	実施方法	直営				
								事業分類	支援事業				
								リーディングプロジェクト	該当				
							市長市政公約	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
・学校開放事業において、学校の屋内外体育施設の夜間開放に係る日程調整などの運営に対して運営委員会を組織し、市民が円滑にスポーツを行なうことができるようにする。 *運営委員会 体協の支部ごとに設置され、区域内の夜間開放施設の日程調整、管理人の選定を行う。						(市の活動) 各支部の運営委員会に交付金の支出 (運営委員会の活動) 毎月の夜間開放施設の日程を調整し、市に報告。管理人選定。						
活動指標						単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
運営委員会数						団体	19	19	19	19		
運営委員会の開催回数						回	12	12	12	12		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
・市民。 ・運営委員会。						対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
人口						人	120,018	119,348	118,450	117,706		
運営委員会数						団体	19	19	19	19		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
・屋内、屋外の学校体育施設を利用する団体の日程調整は図り、円滑に利用できるようにする。						成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
施設利用上の苦情件数						件	0	0	0	0		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。						上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
安全に使用できる市有スポーツ施設数						数	42	41	28	42	42	
市有スポーツ施設の利用者数						人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	328	328	328	328		
	事業費計(A)	千円	328	328	328	328	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	328	交付金	328	交付金	328
	正職員従事人数	人	2	2	2	2		
のべ業務時間	時間	10	10	30	30			
人件費計(B)	千円	38	38	114	114	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	366	366	442	442	0		

事務事業名	学校開放体育施設運営委員会活動事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	-------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・事業開始年度不明。昭和50年頃、小中学校の施設及び学校予定地をスポーツ・レクリエーション活動その他の社会教育の普及並びに幼児及び児童・生徒の安全な遊び場を確保するための学校施設の開放事業の開始に伴い開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・学校開放事業が開始されたときは、ナイター利用はソフトボール、体育館利用はバレーボールの利用が多かったが、利用者のスポーツ種目の多様化により、既存の施設に適合していないスポーツ等もあり、利用者のニーズに答えられないケースもでてきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・施設の老朽化、多様化するスポーツ活動により、利用者、施設提供者双方より様々な意見がある。(使用備品、スポーツ種目の施設適合性)

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
受益者負担の適正化	・学校開放施設については、現在、無料としている。今後、施設の整備と利用状況を踏まえて、受益者負担の検討をしていくことも考えられる。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	・身近で円滑な施設利用ができることにより、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	・佐野市立小中学校の体育館、ナイター照明施設を学校教育に支障の及ばない夜間に開放することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなるため、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・学校体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と健康維持・体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	・学校開放事業については、各学校の地域と連携し利用の調整、体育施設の鍵の管理等をおこなっているため、向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	・必要最小限の経費・人数で行っているため、削減の余地はない。
	削減の余地はない	理由・改善案	
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・現在、学校開放事業については、使用料を徴収していない。近隣市町村の状況等をふまえて今後検討していく余地はある。
	今後、受益者負担を求める必要がある	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
・市民が身近なところでスポーツ・レクリエーション活動を行う環境がなくなることになるため、廃止、休止はできない。 ・利用者がスポーツ等を楽しむ機会を奪ってしまう。学校開放を廃止した場合、市の3つの体育館へ行くしかない。しかし、現状でも3つの体育館は、利用頻度が高い状態である。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ・学校開放施設については、現在、無料としている。今後、施設の整備と利用状況を踏まえて、受益者負担の検討が必要であると考えられる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○		×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		国体開催施設整備事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	管理係	担当課長名	村山和之	
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営					実施計画事業・一般事業	実施計画事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15354	一般会計	10	5	2	国体開催施設整備事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H28年度～R3年度		根拠法令等	国民体育大会開催基準要項					
						実施方法	直営				
						事業分類	施設等整備事業				
						リーディングプロジェクト	該当				
						市長市政公約	2-②-2				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
・平成34年栃木国体開催施設の整備業務 ・ラグビー・サッカー場が不足していること、競技スポーツの振興、国体等に出場する選手の強化のために、早期の建設スケジュールとする。 ◎開催競技と開催に必要な施設数 ・ラグビー : 2会場で3面(うち1会場1面を陸上競技場) ・バレーボール : 1館 ◎主な事業内容(現在想定されているものに限る。) ・新球技場: 天然・人工芝各1面、観客席、管理棟、照明、駐車場等 ・陸上競技場: 芝張替、観客席、トイレ等設備類、電気設備類の改修 ・アリーナためま: 床張替、選手控室、トイレ等設備類、電気設備類の改修、競技種目に対応した改修、競技備品の購入等 ・その他: 練習会場改修のための必要費用 ◎整備スケジュール H28中央競技団体視察 ⇒ H28基本設計 ⇒ H29実施設計 ⇒ R1～R2工事期間 ⇒ R2H29大会 ⇒ R4国体開催		運動広場既存施設撤去工事 佐野市運動公園(仮称)運動広場造成工事(令和2年度に繰越) 佐野市運動公園(仮称)運動広場電気設備工事(令和2年度に繰越) 多目的球技場防護柵改修工事(令和2年度に繰越)						
		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		施設整備進捗率	%	5	15	50	100	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

佐野市開催決定競技種目(正式競技、特別競技、デモンストレーション競技、障害者スポーツ競技)	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	開催決定競技種目	競技	2	5	5	5	
	開催予定施設数	施設	4	4	4	4	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

国体開催施設を整え、成功させる 市内外から多数の来場者を迎え、「見る」スポーツ、スポーツツーリズムの推進	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	期間中の選手・大会役員・競技役員・ボランティア数(R3プレ大会)	人	-	-	-	-	1,000
	期間中の観戦者数(R3プレ大会)	人	-	-	-	-	2,000

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	安全に使用できる市有スポーツ施設数	数	42	41	28	42	42
	市有スポーツ施設の利用者数	人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円			4,500		58,140		266,860			
	県支出金	千円						92,160				
	地方債	千円		4,100			55,200		253,400			
	その他	千円						30,000				
	一般財源	千円		21,384	8,594		62,001		282,357			
	事業費計(A)	千円		21,384	17,194		175,341		924,777		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
委託料			21,384	委託料	17,194	工事請負費	159,076	工事請負費	910,531			
						委託料	16,265	委託料	5,659			
								備品購入	8,587			
人件	正規職員従事人数	人		3		3		4		4		1
	のべ業務時間	時間		1,000		1,500		1,500		1,000		20
費	人件費計(B)	千円		3,816		5,732		5,723		3,815		76
	トータルコスト(A)+(B)	千円		25,200		22,926		181,064		928,592		76

事務事業名	国体開催施設整備事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	H34栃木国体の会場地選定(第一次選定)において、ラグビーフットボール(全種別)会場になったことに伴い、会場となる施設の検討を行った。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国体については、急激な人口減社会とインフラ・コストの上昇等があり、開催費用の負担が大きくなっている。県国体準備委員会の施設整備方針として、真に必要な施設に限定するとともに、施設基準等の弾力的な運用を関係機関に要請し、大会後においても地域住民に広く活用されるよう配慮するとされ、極力既存施設の活用を努めるとの方針決定がされている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	運動公園多目的球技場を人工芝に改修してから施設稼働率が高まり、使用しなくなったといわれている。また、施設が狭隘なため、たびたび隣接する幼稚園に球が飛び出すなど危険な状態であり、施設の利用制限や、防球ネットの高上げが等の対策が要望されている。新しくつくる施設については、多目的に使用できるよう各団体から要望が出ている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	実施設計の単価調査等による見直し等
受益者負担の適正化	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	国体に向けての施設整備だけでなく、ラグビー・サッカー競技等の球技スポーツ振興に結び付くものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	建設費や運営費を削減することために、民間ノウハウを生かす必要があるが、基本的に公の施設として市が主体的に進める事業である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	栃木国体開催に向けた会場の施設整備であり妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	栃木国体開催に向けた会場の施設整備は、台風の影響等により、遅れが出ており、事業費の縮減、国体に向け、事業の執行体制、内容について再考しなければならない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	最低限の事業費で行っている。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	今後、受益者負担を求める必要がある	理由・改善案	施設整備によって、新たな施設ができた場合、利用者に負担を求めていく。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	国体開催。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(コストの見直し) : 受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 予算減による事業内容の精査 適正な受益者負担の設定	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	工事を行う体制の強化 適正な受益者負担の計算
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		運動公園テニスコート夜間照明整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	管理係	担当課長名	村山和之	
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15402	一般	10	5	2	運動公園テニスコート夜間照明整備事業					
事業計画	単年度のみ	事業期間	令和元年度		根拠法令 条例等						
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事业		任意的事業		
							実施方法		直営		
						事業分類		施設等整備事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
運動公園テニスコートは、南北7面の計14面あり内12面が人工芝で、北側2面がハードコートである。ナイター設備はない。テニスコートの利用は多く、土日等は大会でいっぱいになってしまうため、一般の方の利用ができていく状況にあるので、夜間の利用ができるようナイター設備を整備する。ナイター設備新設 7面(南側) ※スポーツ振興補助金を利用。(令和2年度歳入)		運動公園テニスコート夜間照明整備工事						
		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		運動公園テニスコート	面	14	14	14		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

運動公園テニスコート		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		照明設置	面			7		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

利用者が安全・快適に利用できる体育施設の整備を図る。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		運動公園テニスコート利用者数	人	22,927	22,264	18,708		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。市有スポーツ施設の利用促進を図る。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	数	42	41	28	42	42
		市有スポーツ施設の利用者数	人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円							20,000			
	一般財源	千円					48,290					
	事業費計(A)	千円		0	0		48,290		20,000			0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
							工事請負費	48,290				
	正規職員従事人数	人					3					
のべ業務時間	時間					150						
人件費計(B)	千円	0	0	0	0	572	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	48,862	20,000	0	0	0	0	

事務事業名	運動公園テニスコート夜間照明整備事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	--------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	近隣市のテニスコートには、すでに照明が設置されており、佐野市の市有テニスコートでは、1箇所もナイター設備がないため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	照明について、市に対し競技団体から要望が出ている。また、市長と競技団体とのランチミーティングの際も市長に対し要望を行っている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	単年度事業

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	安全で快適な運動施設に整備することで、生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図ることが可能となる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	行政財産であるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	生涯スポーツ・競技スポーツの推進を図り、市内体育施設の利用者の増加を図るためにも、体育施設の整備が必要であると考えたため。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない		理由・改善案	事業終了
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	事業終了
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である		理由・改善案	受益者負担の割合は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
	工事完了				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業終了	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																									
事業終了																									

事務事業名		アリーナたぬま等指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山 和之	
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営						実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名		市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
	15365	一般	10	5	2	アリーナたぬま等指定管理事業		任意的事業・義務的事業	任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成20年度～		根拠法令 条例等	佐野市体育施設条例及び同条例施行規則 佐野市都市公園条例及び同条例施行規則		実施方法	指定管理者			
								事業分類	施設維持管理事業(市以外が主体)			
								リーディングプロジェクト	該当			
								市長市政公約	該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)							
<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度からアリーナたぬま、葛生武道館、中運動公園、葛生農業者トレーニングセンターの4施設を平成22年度から田沼グリーンスポーツセンター、田沼総合運動場、田沼西運動場の3施設を指定管理者により管理していたが、平成28年度より併せて7施設を指定管理者により一括管理としている。 					<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者:(株)フクシ・エンタープライズ 施設の修繕。 指定管理業務の監視。 指定管理者への指導、助言。 							
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)					
指定管理施設数		施設	7	7	7	7						
修繕件数		件	19	18	10	20						
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
<ul style="list-style-type: none"> 市民。 指定管理施設。 指定管理者。 					対象指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
人口		人	120,018	119,348	118,450	117,706						
指定管理施設数		施設	7	7	7	7						
指定管理者数		団体	1	1	1	1						
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
<ul style="list-style-type: none"> 利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。 スポーツ施設を安全に利用できる状態にする。 					成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
指定管理施設利用者数		人	254,627	266,406	173,471	200,000						
安全に使用できる市有スポーツ施設数		数	42	41	28	42						
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
<ul style="list-style-type: none"> 市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。 					上位成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
安全に使用できる市有スポーツ施設数		数	42	41	28	42	42					
市有スポーツ施設の利用者数		人	541,350	613,713	447,054	522,000	523,000					

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	377		133		507		429			
	一般財源	千円	77,100		78,129		76,057		78,054			
	事業費計(A)	千円	77,477		78,262		76,564		78,483		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	5,969	需用費	4,504	需用費	3,627	需用費	6,274		
			手数料	77	役務費	272	役務費	278	役務費	297		
			火災保険料	103	委託料	70,095	委託料	70,848	委託料	71,385		
			自動車保険料	43	使用料及び賃借料	486	使用料及び賃借料	486	使用料及び賃借料	486		
			自動車重量税	39	工事請負費	1,833	工事請負費	1,286	公課費	41		
			運営委託料	22	備品購入費	1,037	公課費	40				
			指定管理料	70,701	公課費	39						
土地借上料			526									
正規職員従事人数	人	3		3		3		3				
のべ業務時間	時間	100		100		100		100				
人件費計(B)	千円	382		382		382		382		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	77,859		78,644		76,946		78,865		0		

事務事業名	アリーナためま等指定管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ市推進課	担当係	管理係
-------	----------------	-----	---------	-----	----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・平成20年4月から「アリーナためま」「葛生武道館」「中運動公園」「葛生農業者トレーニングセンター」を、平成22年4月から「田沼グリーンスポーツセンター」「田沼総合運動場」「田沼西運動場」を指定管理とし、平成28年度より併せて一括指定管理とした。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・市町の合併があり、施設利用者は全体的に増加している。 ・葛生武道館、中運動公園、田沼総合運動場や田沼西運動場の施設の老朽化が進んでいる。 ・田沼西運動場は地域に密着した施設であり、利用者についてもその地域の方の利用が多く、利用者数は横ばい状態。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 ・身近で円滑な施設利用ができることにより、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 ・体育施設を設置することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 ・体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と健康維持、体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 ・指定管理者制度を導入したことにより、スポーツに関する専門的知識を有する従事者を配置するなどサービスの向上が図られた。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 類似事務事業名 運動公園等指定管理事業 複数年の契約で行っており、更新時期を合わせ検討が必要である。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 ・指定管理者制度を導入したことにより、事業費の削減ができた。 ・指定管理者制度を導入したことにより、人件費の削減ができた。 ・田沼グリーンスポーツセンター等指定管理と合わせたことで、削減ができた。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 ・施設利用者から利用料金を徴収しているため適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) ・市民がスポーツ・レクリエーション活動を行うことができる施設を失うこととなるため、廃止、休止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					